

たこかへし



杉並区立高井戸第四小学校

学びを深める夏にするために

校長 本橋 忠旗

早いもので「大暑」へ季節が移り変わり、いよいよ夏本番となります。4月から始まった令和5年度ですが、様々な教育活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、2016年、当時、高校2年生だった田上大喜さんが取り組んだ「蚊が何故人間の血を吸いたくなるのかをヒトスジシマカの雌の交尾数で検証する」という研究が朝永振一郎記念第11回科学の芽賞を受賞し話題となりました。研究の内容は、小学生のころ妹と一緒に山に虫取りに出かけた際に、「なぜ、妹だけが蚊に多く刺されるのか」、赤く腫れあがった患部の様子を見て不憫に思った兄が独自に研究に取り組み、まとめたものでした。

研究の内容は、どのような条件下で蚊の活動が活発になるのかを調べたもので、結果、人の足に付着している常在菌に反応することが分かり、除菌シート等で足を拭くだけで蚊に刺される数が半減することが分かりました。

今夏は、オーストラリア・ニュージーランドで、FIFA女子ワールドカップが開催されます。女子の大会は1991年から始まり、優勝国ベスト3は、アメリカ4回、ドイツ2回、日本・ノルウェー1回と続きます。2011年の日本の優勝からは、12年が経ちました。一方男子は、1930年から始まり、優勝国ベスト3は、ブラジル5回、ドイツ・イタリア4回、アルゼンチン3回と続きます。大会の開催がなぜ男女で60年も違うのか、優勝国上位の地域が異なるのはどうしてか、ちょっとした事象の比較や身近な家族、世の中の誰かを思う気持ちから問題を追究する面白さが生まれてきそうです。

メディアアーティストの落合陽一氏は、著書の中で研究のオリジナリティについて、次のようなことを書いています。①それによって誰が幸せになるのか ②なぜ、いまその問題なのか ③過去の何を受け継いでそのアイデアに到達したのか 他にもあるのですが、こうした発想をもてるかどうかが、これからを生き抜く「時代性」であり、オンリーワンかつナンバーワンの存在になるとも言っています。

しかし、子どもにこの問題意識をもたらせるのは難しいことです。落合氏は、「やりたいことを探してごらん。好きなことは何?」といわれると袋小路に入ってしまう、ならば「自分が解決したいと思う小さな問題を探してごらん」と問い合わせたり、会話の中で話題を掘り下げたりしていくことが重要とも言っています。

自力で問題を解決した事柄や過程には、自信が生まれ、次の学びの意欲へつながります。今年の夏がそのような夏になることを願います。ちなみに私はこの夏、古典文学読破を目標に、今昔、人の感性について考えてみたいと思っています。

【参考】落合陽一 働き方5.0 ~これからの世界をつくる仲間たちへ~ 小学館新書 2020

<お知らせ>

- 夏季休業中の水泳指導の中止連絡は、受付開始時刻30分前を目途に学校緊急メールの配信及び正門前に掲示を行います。
- 夏季休業中の学校閉校日は、8月10日（木）～8月16日（水）となっております。期間中の来校や緊急連絡についての詳細を学校ホームページ「2023年度 新着情報」の欄に掲載しましたのでご確認ください。
- 2学期に向けて、上履きのつま先とかかとの部分に記名をお願いします。